



令和元年 12 月 9 日
海上保安庁

日・ベトナムの2020年の協力計画を策定 —第6回日越海上保安機関実務者会合の結果概要—

12月3日(火)、海上保安庁とベトナム海上警察は、今後の協力について協議するための実務者レベルの会合を開催しました。本会合では、両機関における今後の活動の方向性について議論し、2020年の協力計画を策定しました。

1. 経緯

海上保安庁とベトナム海上警察は、2015年の両機関における協力覚書の署名に基づき、海上保安に関する協力関係を構築してきました。

両機関は、実務者会合や巡視船及び職員の派遣の実施を通じて連携を強化し、インド・太平洋地域における治安の維持と安全の確保に取り組んでいます。

2. 日程

- | | |
|----------|--|
| 12月3日(火) | ベトナム海上警察による海上保安庁長官表敬
第6回日越海上保安機関実務者会合 |
| 12月4日(水) | 横浜海上防災基地視察 |
| 12月6日(金) | 海上保安大学校視察 |

3. 実施結果

○実務者会合代表者

海上保安庁	総務部国際戦略官	内海 雄介
ベトナム海上警察	副司令官	ファム・キム・ハウ

海上保安庁とベトナム海上警察との間での協力の進捗状況等を確認するとともに、2020年の協力計画について議論を行い、海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)の派遣やワークショップの開催を柱とすることで合意しました。

また、横浜海上防災基地及び海上保安大学校の視察においては、当庁の警備救難業務や人材育成について活発な質問がなされるなど、当庁の取組みに対する高い関心が伺えました。

4. 写真

○海上保安庁長官表敬



○協力計画の策定



○横浜海上防災基地視察



○海上保安大学校視察

